

日本学生支援機構奨学金

本採用説明会

大阪産業大学

学生課 奨学金係

【説明会の流れ】

1 配布資料の確認

2 本採用の手続き

3 採用後のスケジュール

4 補足事項

奨学生としての心構え

- ①大学からの説明を受け、奨学金制度について十分に理解してください。
- ②各手続きは、大学から指示のあった期限を厳守してください。
大学からの案内（ポータルシステムのお知らせ等）を確認せず、
手続期限を過ぎ、奨学金が「停止」・「廃止」となっても
大学は一切の責任を負いません。
- ③奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。
成績によっては、奨学金が「停止」・「廃止」となります。

再確認

ポータルシステム メール通知設定



※採用後の手続きはすべてポータルシステムからお知らせします。
メールにも通知が届くよう設定しましょう

※メール通知設定が分からない場合は、本館5階の「情報科学センター」へ問い合わせください

※保護者用ポータルシステムのご不明点は「後援会」へお問い合わせください

①配布資料の確認

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

①手続き案内

【機関保証】（月採用前）

手続き案内

①～④の手順に従って、期限内に手続きしてください。

提出期限 月 日()17:00厳守

- ① 配付書類の確認（一種・二種両方採用の方は、2部配布）**
 - ・返還誓約書
 - ・奨学生証
 - ・返還誓約書記載事項訂正原簿（訂正する場合のみ必要、訂正箇所がない場合は提出不要）
 - ・保証申請書
 - ・貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）
- ② 大学WEBページ内から下記2つの動画を視聴（QRコード読み取り）**
 - ・本採用手続き説明動画【前編・後編】
 - ・日本学生支援機構 説明動画「奨学生となった皆さんへ」
- ③ 返還誓約書の記入（必ずQRコードを読み取り）**
 - ・書き方マニュアルを印刷しなが、併読してください。
 - ・署名・印字の訂正方法には決まりがあります。
 - ・返還誓約書記載事項訂正原簿（訂正があった場合のみ提出必要）

保証依頼書の記入
・「書き方マニュアル」、ダイジェスト版P.9参照

封筒の確認欄に✓(チェック)しながら封入してください。

裏面に続く➡

②貸与奨学生のしおり （ダイジェスト版）

日本学生支援機構 貸与奨学生のしおり (ダイジェスト版) **必読**

この冊子（ダイジェスト版）では、貸与奨学生として採用された後に必要な手続きや返還誓約書の書き方等について特化して説明しています。
より詳細な内容については、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「2024年度貸与奨学生のしおり（全体系）」を確認してください。

はじめに

みなさんは、日本学生支援機構の貸与奨学生として採用されました。
日本学生支援機構の貸与奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにあふわしい能力を持った学生等に貸与されるものです。
みなさんは、その奨学金の貸与を受ける資格があると認められました。その誇りと自信を持って、勉学に励み、それぞれの描いた未来や夢に向かって、その第一歩を踏み出してください。

貸与奨学金制度

日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金は借入金（貸与奨学金）です。卒業後は必ず返還する義務があります。
この奨学金制度は、充実に返還した奨学金を後輩の奨学金として直ちに利用する仕組みとなっています。
奨学生ひとりひとり、責任を持って返還することで、奨学金制度が成り立っていることを忘れてください。

貸与奨学生としての心構え（貸与奨学生のしおり（全体系）4ページ）

- 奨学金制度について、十分に理解してください。
- 貸与中の手続きは、学校の指示を守り、期限内に行ってください。
- 奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。

注意事項（貸与奨学生のしおり（全体系）5ページ、供給履歴は92ページ）

- 提出期限を守る
学校が期限を定めて書類の提出や入力等の手続きを求めていることがあります。特に「返還誓約書（業種人雇用情報の取扱いに関する同意書）」（以下、「返還誓約書」といいます）は、必ず期限までに添付書類とともに提出してください。期限までに提出がない場合は、貸与奨学生としての採用が取消になり、振り込まれた奨学金を全額返還金としてなりません。
- 借り返しに注意
奨学生として採用された後、「返還誓約書」で借入金額等を確認してください。
また、家庭の経済状況や卒業後の返還額を十分に考慮し、適切な貸与月額に見直ししてください。
- 第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用するとき
第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が自動的に調整（減額又は給付）され、これを供給履歴といいます。調整後の貸与月額は「給付奨学金を併せて利用している時の第一種奨学金の貸与月額」で確認してください。

③貸与奨学生決定後の 適格認定について

貸与奨学生のみなさんへ

貸与奨学生決定後の適格認定について

奨学金の貸与を受け続けるためには、採用後も奨学生として一定の学業成績を確保続ける必要があります。

毎年学年末、学業成績をもとに「適格認定」を行いますので、奨学生の自覚をもって勉学や学生生活に取り組んでください。

手続きを怠った場合や学業成績不調、専攻区分等奨学生としてふさわしくないと判断された場合は、奨学生の資格を失い、奨学金の貸与が打ち切られる場合があります。

警告・・・今後の成績次第で「停止」「廃止」となる可能性があることへの警告
（奨学金は継続）
✓ 当該年度の修得単位数が4単位～15単位（標準的な修得単位数の1/2以下）

停止・・・1年間奨学金の停止
✓ 当該年度の修得単位数が3単位以下（標準的な修得単位数の1割以下）であるが、残りの修業年度で卒業要件単位数を取得可能なこと

廃止・・・奨学生の資格の喪失
✓ 卒業試験が確定していること

2026年4月学生課作成

②本採用手続きについて

【全員】

スカラネットパーソナルの登録

！！奨学金申込みに使用した「スカラネット」とは**違うサイト**です！！

奨学金を継続するための手続きに使用します

奨学金の詳細情報が確認できます

【注意事項】

- ※自分で設定した「ID」、「パスワード」は在学中や卒業後の手続きに使用するの、忘れないように注意してください。
- ※奨学金が**2つ以上採用**になっている場合は**それぞれ登録**が必要です。
- ※忘れた場合は再登録が必要になります。

The screenshot shows the homepage of the Scholar-PS Personal website. At the top, it identifies the organization as the Japan Student Support Organization (JASSO). The main heading is 'スカラネット・パーソナル' (Scholar-PS Personal) with the URL <https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>. Below this, there is a section titled 'スカラネット・パーソナルとは' (What is Scholar-PS Personal?) which explains that it is a system for students to manage their scholarship information. A 'スカラPSの利用方法' (How to use Scholar-PS) section follows, containing two main areas: '奨学金の状況を確認' (Check scholarship status) and '奨学金の継続手続き' (Scholarship continuation procedure). The first area includes options to check the status, monthly amount, registration info, and withdrawal account. The second area includes a warning that continuing the procedure will stop the scholarship and lists the necessary steps: submitting a continuation application (annual 12/1-2) and reporting (annual 4-10).

【全員】

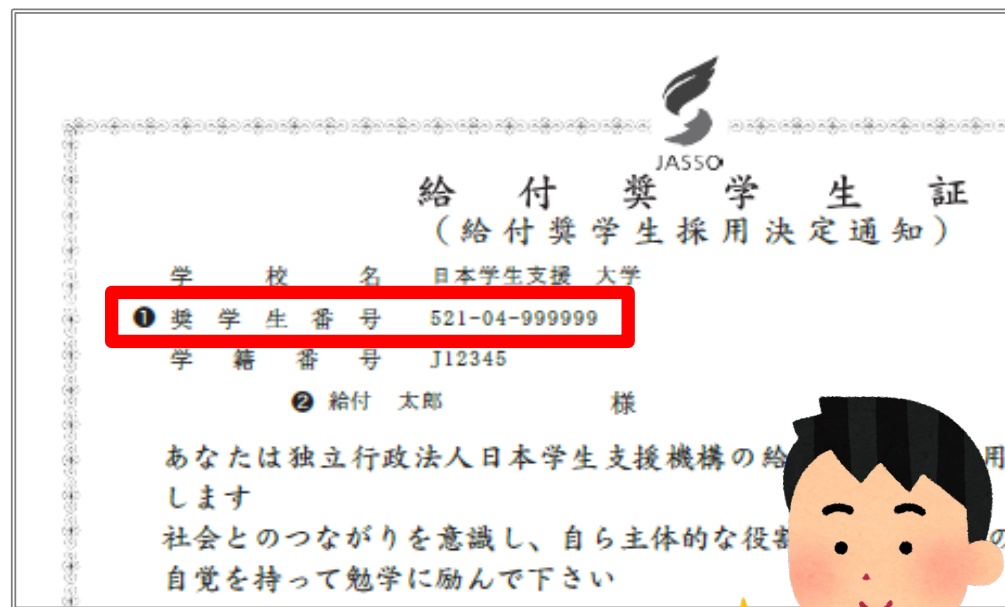
奨学生証に記載されている『奨学生番号』を
すぐに確認できるように、スマホ等に残しておく

【注意事項】

※奨学生番号は個人情報です

※今後の手続きに必要なになりますので奨学生証は
ご卒業までしっかり保管しておいてください

※2つ以上奨学生番号がある方は、全ての番号が
分かるようにしてください



The image shows a sample of a JASSO Student Award Certificate (奨学生証). The certificate is titled "給付奨学生証 (給付奨学生採用決定通知)" and features the JASSO logo. The recipient's name is "給付 太郎 様" (Taro). The school name is "日本学生支援 大学" (Nihon Gakusei Jien Daigaku). The student ID number is "学籍番号 J12345". The award number, "奨学生番号 521-04-999999", is highlighted with a red box and labeled with a circled 1. The certificate also includes a message: "あなたは独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学生として採用されます。社会とのつながりを意識し、自ら主体的な役割を果たし、自覚を持って勉学に励んでください。"



貸与奨学金（一種・二種奨学金）

・ 返還誓約書と添付書類の提出

返還誓約書
(個人信用情報の取扱いに関する同意書)

【第一種人的保証】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金を下記のとおりに借りました。
つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金規程その他の諸規程によって
規定した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いに同意し、返還することを誓約し
ます。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人信用情報は、
裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用
情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借入れた学費貸付金は、
第一種奨学金（無利息）であり、人的保証を求めず、家計支持として個人番号を提
出している裏面保証人は、裏面記載の範囲で個人番号を利用することに同意します。
令和 XX 年 4 月 1 日

借入金額 ￥ 2 4 4 8 0 0 0

奨学生本人
奨学生番号 6XX-XX-XXXXX CD 7 001 採用種別 子弟
金学校 日本学生支援大学
住所 〒 135 - 8630
東京都江東区青海 2-2-1
電話番号 03-XXXX-1111 携帯電話番号 090-XXXX-6666
氏名 (奨学 太郎)
署名

平成 XX 年 11 月 11 日生 性別 男
貸与の件
貸与の期間 貸与の回数 貸与の金額 貸与の回数 貸与の金額
20XX 年 4 月 - 20XX 年 3 月 48 回 51000 円 2448000 円
年 月 - 年 月 年 月 年 月 円 円
年 月 - 年 月 年 月 年 月 円 円
返還の件
返還の回数 返還の金額 初回前払金 初払金 最終前払金
月毎返還 毎月27日 180 回 13600 円 13600 円 2448000 円
月毎返還滞り時の前支払い額
毎月1日 毎月27日 180 回 6800 円 6800 円 40800 円
年毎返還 年毎返還 毎年度1-7月の27日 30 回 40800 円 40800 円 40800 円
2 年毎返還滞り時の前支払い額 2448000 円

添付書類
・ 裏面保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村発行、コピー不可）
・ 裏面保証人の「収入に関する証明書類」（コピー可）（例：源泉徴収票、市区町村発行の所得証明書等）
・ 保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村発行、コピー不可）

添付書類はここに
記載しています

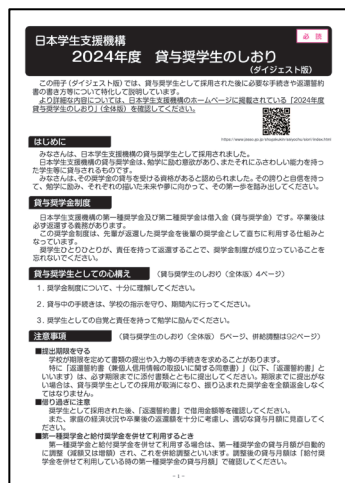
※画像は人的保証の場合です（別途、必要書類も提出必須）

※一種・二種両方採用の方は2部とも記入等をし、提出が必要（証明書類も1枚ずつ計2枚必要）

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

各書類の記入方法は

「しおり」と「書き方マニュアル」を確認してください！



「書き方マニュアル」



記入上の注意点が記載されています
ご不明な点がある場合は、必要書類やボールペン等をご持参のうえ奨学金窓口までお越しください

貸与奨学金 【機関保証制度を選択した方】

※一種・二種両方採用の方は2部とも記入し提出が必要

①返還誓約書

A detailed form for the Return Promise (返還誓約書). It includes fields for the borrower's name, address, and contact information. A table shows the loan amount (100,000) and the repayment schedule over 10 periods. The form is filled out with sample data.

(2枚目は本人控えですので
提出しないでください)

②保証依頼書

A form for the Guarantee Request (保証依頼書). It includes fields for the guarantor's name, address, and contact information. The form is filled out with sample data.

(2枚目は本人控えですので
提出しないでください)

貸与奨学金 【人的保証制度を選択した方】

①返還誓約書

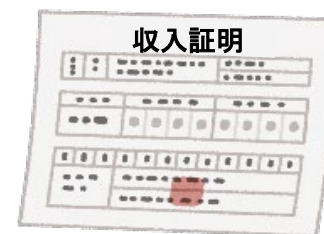
(2枚目は本人控えですので提出しないでください)

②連帯保証人の

印鑑登録証明書・収入証明



※原本



※コピー可

③保証人の印鑑登録証明書



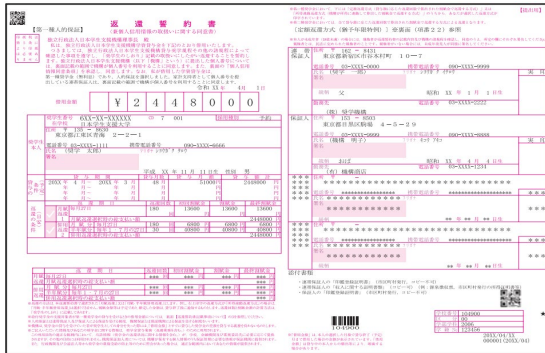
※原本

※一種・二種両方採用の方は2部とも記入・押印し、提出が必要（証明書類もそれぞれ2枚必要）

貸与奨学金

【人的保証制度 保証人が65歳以上・4親等以外の方】

①返還誓約書

A detailed form for the Return Promise Book, containing fields for personal information, financial details, and a signature area. It includes a QR code and a barcode at the bottom.

(2枚目は本人控えですので提出しないでください)

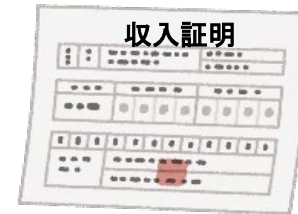
※一種・二種両方採用の方は2部とも記入・押印し提出が必要 (証明書類も2枚必要)

②連帯保証人の

印鑑登録証明書・収入証明



※原本



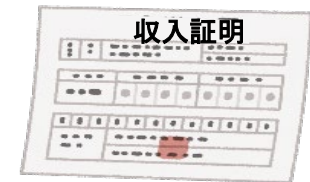
※コピー可

③保証人の

印鑑登録証明書・返還保証書・収入、資産証明



※原本



※コピー可
返還保証書裏面参照

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

提出期限

手続き案内に記載しています

※余裕をもって提出してください。

締切日直前や当日に提出され記入不備や書類不足
があった場合は、受付できない場合もあります。

※ご事情により遅延する場合は、提出期限までに連絡して下さい

保証】（月採用者）

手続き案内

期に従って、期限内に手続きしてください。

提出期限 月 日() 17:00 厳守

① 配付書類の確認（一種・二種両方採用の方は、2部配布）

- ・返還誓約書
- ・奨学生証
- ・返還誓約書記載事項訂正届（訂正する場合のみ必要、訂正箇所がない場合は提出不要）
- ・保証依頼書
- ・貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）

② 大学WEBページ内から下記2つの動画を視聴（QRコード読み取り→）

- ・本採用手続き説明会動画 【前編・後編】
- ・日本学生支援機構 説明動画「奨学生となった皆さんへ」

③ 返還誓約書の記入（必ずQRコードを読み取り→）

- ・「書き方マニュアル」を視聴しながら、作成してください。
- ・署名・印字の訂正方法には決まりがあります。

返還誓約書記載事項訂正届（訂正があった場合のみ提出必要）

保証依頼書の記入

- ・「書き方マニュアル」、ダイジェスト版P.9参照

封筒の確認欄に✓(チェック)しながら封入してください。

裏面に続く⇒

③採用後のスケジュール

給付奨学金

月	手続き内容
4月	・ 在籍報告（スカラネットパーソナルでのWeb入力）
7月	・ 後期授業料 延納願提出
10月	・ 「家計」の適格認定
12月	・ 次年度の前期授業料 延納願提出
3月	・ 「学業」の適格認定

※全ての手続き案内はポータルシステムよりお知らせしますので
通知の見落としがないように注意してください

給付奨学金

在籍報告（毎年4月）

スカラネットパーソナルを使う手続きで
在籍状況や生計維持者、扶養人数等を報告する必要があります

- ・ 在籍報告入力期間はポータルでお知らせします。
- ・ また、期間内に入力ができない場合は給付奨学金の支給が停止されます。
- ・ 届け出る事項に虚偽があった場合は、支給された給付奨学金の100分の140（1.4倍）を一括で返金しなければならない場合があります。

給付奨学金

「家計」の適格認定（毎年10月）

日本学生支援機構が、提出済みのマイナンバーから毎年10月に前年度収入を確認し、それによって「給付月額」「減免額」が決定されます。



マイナンバーで確認



10月～次年度9月

- ・ 毎月の給付額、授業料減免額
- ・ 理系・多子世帯は授業料減免のみ

※ご注意ください

- ・ 卒業まで「給付額」「減免額」が同じ金額とは限りません。
- ・ 「適格認定の結果」は9月中旬に各自でスカラネットパーソナルから確認して下さい。

よくある質問！【アルバイト収入について】



アルバイトをしているけど、
どれくらいまでなら働いていいですか？

学生本人だけではなく、世帯の収入で審査されるので、
大学ではわかりません。
ご自身で、日本学生支援機構に問い合わせるか、
進学資金シミュレーターで確認をしてください。



多子世帯で、所得の上限がないので、
私もたくさん働いても大丈夫ですか？

所得の上限は原則ありませんが、
生計維持者の扶養をはずれてしまうと、多子世帯の要件も
満たさなくなり、支援の対象外となります。



※2026年の収入は、2027年10月の適格認定で審査されます。アルバイトはご自身で計画的に行うようにしましょう！※

給付奨学金

「学業」の適格認定（毎年3月）

年度末の成績結果（単位数、GPA、出席率）で、次年度も給付奨学金を継続できるかが判定されます。

大阪産業大学では
成績表の「※」の割合で判定します

配布している学業基準を必ず確認し、勉学に励み、不明点があれば奨学金窓口までお問い合わせください

廃止や返還になってから「知らなかった」
では取り返しがつきません！！

給付奨学金のみなさんへ

給付奨学生決定後の適格認定（学業）について

毎年年度末の学業成績により適格認定を実施し、次年度も給付の適格を判定します。
（卒業単位が修得し、出席率・出席日数）を満たした場合は、自動的に適格となります。

適格認定の結果によっては「出席率の低さ」や「単位の修得率」「卒業単位未修得のリスク」による判定がありますので、決定後も出席率や単位の修得を怠らないうちに学業に励んでください。

高等教育の修学支援新制度の学業要件について詳しくはこちらをご覧ください

学業の適格に該当しない場合は、一定の学業成績と卒業単位未修得要件を満たす必要があります。

要件	満たさなければならない要件
卒業単位が修得していること	卒業単位が修得していること
出席率	出席率の割合が70%以上
出席日数	出席日数の割合が70%以上
単位修得率	単位修得率の割合が70%以上
GPA	GPAが2.0以上

大阪産業大学では「学業」の割合で判定します。

2025年4月 学生課作成

給付奨学金

学業基準の見方

《表面》

給付奨学生のみなさんへ
給付奨学生決定後の適格認定(学業)について

毎年学年末の学業成績により適格認定を実施し、次年度4月の支援が決定します。
(年度途中で履修(退学・除籍)となった場合、その時点で判定を行います)
適格認定の結果によっては、「**卒業の禁止**」や「**本学給付奨学金・授業料減免分の返還**」となる場合がありますので、決定後も出席や取得単位の基準を満たすように学業に取り組んでください。

高等教育の修学支援新制度の学業要件って何?

奨学金の継続に当たっては、一定の学業基準と学業成果を定める要件があります。

具体的要件

警告(卒業は継続)となる要件

- 出席率(出席)が7割以下
- 卒業前15回の授業のうち欠席が3回以上
- 取得単位数が7割以下

廃止(卒業打ち切り)となる要件

- 修業年間で卒業・修了できなかった
- 出席率(出席)が6割以下
- 取得単位数が6割以下

GPA(成績評価)が、所属する学部等の下位4分の1

大原産業大学では「出席率」(学習意欲)は、当年履修科目のうち成績評価「※」の割合で判定します。

2025年4月 学生課作成

単位数
1年生の場合
年間22単位以上で継続
年間18単位以下は**廃止**

GPA
学部内の順位
下位1/4にあてはまる場合は「**警告**」になります

出席率
裏面の成績表にある「※」の割合で判定

《裏面》

適格認定(学業) 成績表での確認ポイント

①～④から警告、廃止に該当するかの判定を行います。

①【修業年限で卒業可能?】
修業年限4年(編入生は2年)で卒業できないことが確認された時点で廃止。
例:4年次で履修科目数不足
※この要件は10月1日時点での履修科目数が確認できないことが確定した時点で適用されます。

②【修得単位数の確認】
修得単位数が卒業要件に達していないか
例:1年次:18単位、2年次:18単位、3年次:18単位
警告:卒業単位の7割以下
廃止:卒業単位の6割以下
※卒業単位数は、卒業要件に達しているかを確認してください。

③【学修意欲(成績表「※」の割合)の確認】
学修意欲は、当該年度履修科目数のうち成績評価「※」の科目数割合により判定します。
例:「※」科目数:10科目 / 履修科目数:15科目 = 0.67 (67%)
※成績評価「※」は、成績表の「成績」欄に記載されています。
※成績評価「※」は、成績表の「成績」欄に記載されています。

④【GPA順位の確認(目安)】
当該年度2学期の平均GPAが学部内下位1/4(25%)の順位に達しない場合は警告。
例:学部内順位:100名中100名(下位1/4)
警告:「※」割合が2割以上4割未満
廃止:「※」割合が4割以上9割未満
廃止(返還必要):「※」割合が9割以上

成績表はポータルシステムから出力できます
Portal2025にログイン(左メニュー) → 奨学金システム(奨学金) → 成績表ダウンロード

③【学修意欲(成績表「※」の割合)の確認】

学修意欲は、当該年度履修科目数のうち成績評価「※」の科目数割合により判定します。
(「※」は未受験など、「成績評価」に至らない場合の評価記号。科目ごとの適用基準はシラバスに記載されています。)
(当該年度「※」の科目数) / (当該年度の履修科目数) = 「※」割合

警告:「※」割合が2割以上4割未満
廃止:「※」割合が4割以上9割未満
廃止(返還必要):「※」割合が9割以上

(計算例)「※」3科目 / 履修11科目 = 0.273 2割以上4割未満のため「警告」に該当

「学業基準」の表を見てみましょう

例えば、単位数やGPAだと下の表を参考にしてください

警告(支援は継続)となる要件

- ・修得単位数が7割以下★
⇒**単位数が**、
1年生……**21単位以下**
2年生……**43単位以下**
3年生……**65単位以下**
4年生……**86単位以下**
(卒業に必要な単位数が124単位の場合)
- ・GPA(成績評価)が、
所属する学部等の**下位4分の1**

廃止(支援打切り)となる要件

- ・修得単位数が6割以下★
⇒**単位数が**、
1年生……**18単位以下**
2年生……**37単位以下**
3年生……**55単位以下**
4年生……**74単位以下**
(卒業に必要な単位数が124単位の場合)
- ・警告要件に2回連続で該当
※2回目の警告がGPA要件のみの場合は、
支援打切りではなく、次の判定まで支給停止

* 編入、休学歴のある方の基準は異なりますのでお問い合わせください。

給付奨学金

延納願の提出（毎年7月、12月）

給付奨学生の方は、家計や学業の判定があるため、通常の授業料支払い期間に授業料減免額が確定しません。

授業料の振込が遅れることになり、「授業料延納願」「除籍猶予願」の2枚の書類提出が必要になります。

- ・ 書類提出期間はポータルでお知らせします。
- ・ 期間内に提出ができない場合は授業料減免が受けられなくなる場合があります。

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

月	手続き内容
12月	・継続願(スカラネットでのWeb入力) ※卒業年は不要
3月	・「学業」の適格認定

※全ての手続き案内はポータルシステムよりお知らせしますので

通知を受け取れるようにメール設定をし、見落としの内容に注意してください

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

継続願（毎年12月）

スカラネットパーソナルを使う手続きで
次年度も奨学金が必要か、今年度の奨学金使用状況等を入力します

継続願の入力期間や、詳しい内容はポータルでお知らせします。

期間内に入力できない場合は「継続願未入力による廃止」と判定され

貸与奨学金の資格がなくなります。

貸与奨学金（一種・二種奨学金）

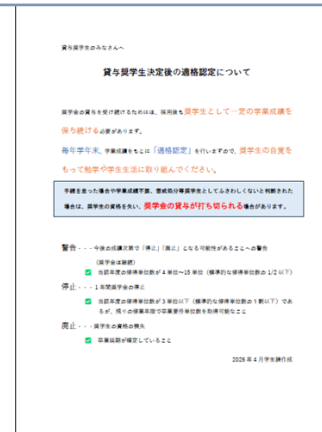
「学業」の適格認定（毎年3月）

年度末の成績結果（単位数）で、次年度も貸与奨学金を継続できるかが判定されます。

配布している学業基準を必ず確認し、勉学に励み、不明点があれば奨学金窓口までお問い合わせください

廃止や停止になってから「知らなかった」
では取り返しがつきません！！

学業基準



④補足事項

各種手続きについて

★ 一種・二種月額変更（増額・減額）

※給付が振り込まれている場合は、一種の金額は変更できません

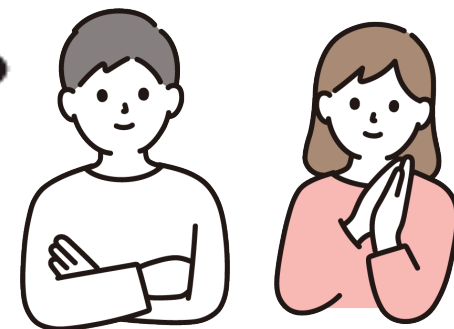
★振込口座の変更

★奨学金の辞退

★休学・退学 など

※各種手続きやご相談は、

奨学金窓口までお越しく下さい



お問い合わせ先

本館1階 学生課 奨学金窓口

【窓口時間】平日:9:00~17:00 / 土曜:9:00~12:30

【電話番号】072-875-3070(直通) / 072-875-3069

メールアドレス:shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp



- ★窓口対応優先のため、電話はつながりにくい可能性があります
- ★大学公式WEBサイトのお問合せフォーム等をご利用いただくなど、ご協力をお願いします
- ★窓口時間外の受付は一切行いません

おわり

給付奨学金に採用された方は 本日の説明会終了後 この申請書の提出が必要です

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

大阪産業大学 学長 殿

年 月 日

私は、貴学（貴校）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確証し、理解しています。

- この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を行われなくなるものと、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じて、大阪産業大学が機構の保有する私の給付奨学金に際する情報の送付を受けること、及び機構が大阪産業大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- 現在、他の学校において、「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

フリガナ				入学年月	2026年 4月 入学
氏名					
生年月日 (西暦)	年	月	日		
現住所	〒 都道府県 市区町村				
所属学部・学科等				学籍番号	26
学年	1	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 (昼夜間履修を含む)	<input type="checkbox"/> 夜	<input type="checkbox"/> 通信
希望する認定事由	<input type="checkbox"/> 授業料等負担が困難 <input type="checkbox"/> 多子世帯				
過去に本制度の支援を受けた学統名、期間(*)	(学統名)	(期間/月数)			
過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。	あり	なし			
機構の給付奨学金に関する情報	(いずれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 予約採用の申込を行った者	※予約採用の採用候補者は、機構からの通知のコピーを添付すること				
<input type="checkbox"/> 在学(在学予約)採用の申込を行った者	【給付奨学金の申込の受付番号 (採用候補者となっていれば登録番号、給付奨学生となっていれば奨学生番号)】				
<input type="checkbox"/> 在学(在学予約)採用の申込を行った者	【給付奨学金の申込の受付番号 (給付奨学生となっていれば奨学生番号)】				

- 右上に、本日の日付を記入
- 氏名 / 学部学科 / 学籍番号 を記入
※アルファベットは大文字で記入
- 給付奨学生証の支援区分を確認し、希望する認定事由に✓を入れてください
多子世帯と書かれている方は ⇒ 多子世帯
第●区分と書かれている方は ⇒ 授業料等負担が困難
第●区分（多子世帯）と書かれている方は ⇒ 両方
※黒のボールペンで記入してください※